

保育計画成果報告書

法人名	社会福祉法人 中央総合福祉会
施設名	都賀保育園
報告者（役職）	佐藤 圭子 （園長）
住所・連絡先	〒264-0025 千葉県千葉市若葉区都賀 5-1-11
	電話 043-231-1600 e-mail gener@tsugaeduhoiku.or.jp

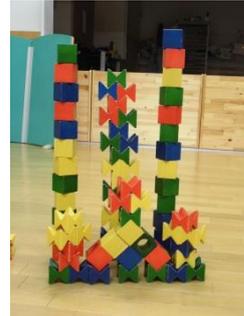
○タイトル（保育計画）

地球はあそび場

世界の優れた玩具と国内の優れた固定遊具で子どもたちの成長と未来を！

○主な助成備品

アングーラ、ネフスピール、リグノ、キーナモザイク、ケルンモザイク、KAPULA カラーカプラ、WAKU-BLOCK45、(国産) 三角大型遊具、(国産) 鉄棒



・アングーラ、ネフスピール、リグノ



・園庭三角大型遊具



・園庭鉄棒

1. 実施した保育計画策定の目的

◎魔法のような素晴らしい積み木で遊ぶ子どもたち！！

◎子どもの成長に必要な、全ての感覚を養う固定遊具で遊ぶ子どもたち！！

2. 具体的な実施内容

幼児グループ（3・4・5才）は縦割り保育で環境設定はコーナー保育を行っています。3部屋にコーナーとして、7つの活動ステーションがあり、子どもたちは登園するなり遊び始めます。乳児グループ（0・1・2才）はプレイルームにて、登園した子から、子どもたちや大人と関わりながら遊びを楽しみ始めます。また、活動ステーションは、行事・活動の内容により大人がしかけるコーナーとしても時に出現することもあります。

積み木は一人遊びの最高のおもちゃであり、簡単な積み木から思うままにお城、タワー、恐竜でも出来てしまうまるで魔法のような素晴らしい積み木。積み木の中でも優れたネフ社の積み木・リグノ・アングーラ・ネフスピール・キーナモザイク・カプラ（白木・カラー）和久ブロック

両手で重力にさからわずにバランスを取りながら、時間をかけて積むというのが積み木遊びの真髄であり、是非都賀保育園の子どもたちにと選びました。



積み木遊び…家庭では高価な積み木はなかなか買えません。しかし今回都賀保育園にこのような機会を与えられ、是非子どもたちの遊びの充実、感性豊かな子どもの育成に素晴らしい積み木を、

- ・色彩の豊かなこと
- ・どの積み木も組み合わせができる着尺
- ・シンプルかつ精巧な作りを長年にわたり使用できる、という3点を基準に購入させていただきました。

和久ブロック…「それは子どもの願いをかたちにしてくれる積み木です。1才半になるとどの子も1個の直方体をバスやビルやベッドにみたくて遊びはじめます。他の積み木があると必ずこれを寄せて汽車や家をつくり出します。誰に教えられたわけでもなく、これは人間の2つの基本的な思考回路に一致した活動です。1つの情報をいろいろな場面に応用すること。いろいろな情報をまとめてひとつの答えを出すあり方、子どもが自ら育つ力をもっていることを示すもの、この知的欲求に応えるための環境を整えれば、子どもは嬉々として遊べるよう創造的な人間として育っていきます。子どもの真の姿を知るためにも必要不可欠な積み木です。」(和久洋三氏のことば)

和久ブロックであそぶ



ネフ社の積み木であそぶ



姿を消しつつある遊具

シーソー、鉄棒、ジャングルジムなど、小さいころ遊んだなじみの遊具が、公園では見ることができなくなってきました。新しいアスレチック型での遊具も時代とともに様変わりして子どもたちが遊んでいます。しかし日常的な場面で、行動や反応が不安定になり、転んだ時手が出ない、転んで顔に怪我をするなど、危険を伴わない平易な状況であっても怪我をします。今、子どもたちは様々な事情から屋外で過ごすことが非常に少なくなっています。このような現状ですが、先人たちが子どもたちの成長に必要と設置した公園の固定遊具が姿を消しつつある中、身体遊びの醍醐味とは、自分の限界を知り、それを越えていくことです。自分の能力を客観的に評価することで学ぶことができるチャンスです。自分自身で安全を確保する「危険回避能力」を身に付けたり、平衡感覚は、全ての運動・活動の基礎となるもので、子どもたちにいろいろな遊びを通して状況をうまく乗り越えた、やりきることが出来たという成功体験は、次の新たなチャレンジできる自信とやる気を生み、それは大きな自己肯定感、つまり「生きる力」へと繋がっていくと思います。子どもの成長に必要な全ての感覚を養う遊具のひとつとして、園庭に固定する中型遊具、鉄棒を選びました。



3. その成果と評価

素敵なプレゼントに子どもたちは大喜び。すぐにさわり、形を確かめ夫々の手に取ると、もう子どもの世界は広がっていきます。0才児～5才児まで積み木の遊びを楽しんでいます。あそびというのは放っておけば子どもは子どもの感性であそびだしますが、積み木のもつおもしろさや発展性、創造性を育むには、まず積み木のおもしろさを大人が共に楽しむことが重要です。大人も一緒になって遊んでいると、子どもは何作ってるのかなーと興味をもち、それをヒントに自分で創り出したり、時には一緒にやろうーと共に大規模のものをつくったり、常に子どもたちの創造・想像力は止まることはありません。月齢の低い子はみていて、積み木を渡す役をしたり、こわさないよう気かけたり、そのうち仲間入り、そして“僕だって出来るよー”と自信に満ちた表情に変化していく様子がおもしろいです。子どもたちの発想のおもしろさは、大人が決して真似できない独特の感性がくり広げられています。くずれてはまた積み上げていく積み木の醍醐味を楽しんでいます。

4. 今後の課題と展望

積み木あそびの醍醐味を更に楽しみ広めていくために買い足していかなければなりません。数人であそんでいるとあっという間に使い切ってしまう、そこに次の想像力をプラスしていくので、限りなくあそびの世界が広がっていきます。今回購入させていただいた積み木類は優れたもので高額ではありますが、今後も買い足して増やしていきたいと思っています。保護者の皆様も関心を強く持たれています。積み木遊び、園庭での固定遊具など、子どもたちが楽しんであそんでいる姿はとても嬉しく思います。

園の目標でもある、たっぷり遊んで、しっかり食べて、ぐっすり眠る。そしてたくさん愛情の中で育つ都賀の子どもたちの成長をこれからも見守っていきたいと思います。新設園に、素敵なおもちゃをプレゼントしていただきました第一生命財団法人様には心よりお礼申し上げますと共に、これからも多くの保育園で子どもたちがより良い保育環境の中で過ごせますよう、益々のご活躍を心よりお祈り申し上げます。

以上